



## 第138号 2017年11月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

写真／野間幹雄（萩市椿東）

### 主な内容

人口定住策、子育て支援策	P2~P3
山陰自動車道・萩小郡道路の整備状況	P4
ズームアップ 森川翠水(東京都)	P6
元気企業探訪 株式会社山城精機製作所(東京都・萩市)	P8
懐かしい味 高井蒲鉾店(萩市)	P9
連載 萩の産業遺産を歩く③	P10

萩市旧福栄村地域には、平蔵（わらび）台、平原台、長沢台、羽賀台と4つの台があり、農業が主産業の中山間地域です。平わらび台は標高約360m、最高が400mを超える準高冷地に位置し、秋から冬の早朝には雲海が広がる日があり、絶景を眺めることができます。

地域の環境を生かした平わらび米（コシヒカリ）を中心に、白菜、キャベツ、ニンジンを生産しています。春4月にはわらび摘みフェスタなどのイベントも開催。

## 平わらび台(福井)の 絶景・雲海



# 人口減少が進む中、萩市の定住支援策は？

萩市では、死亡数が出生数を上回る「自然減」、転出者が転入者を上回る「社会減」が続いている（別表）。

毎年の人口減少は800人を超え、12年前の合併時と比べると人口は8430人が減った。進学や就職を機に市外・県外へ離れる若者の傾向に変化は見られず、山口県全体でも中国5県では最多の減少幅となっている。

なお、今年8月末の人口は4万8937人、65歳以上は1万9991人で高齢化率は40%、旧郡部の6地域は50%前後と高齢化が進んでいる。

## ■萩暮らしを応援します

移住希望者のためのワンストップ窓口「萩暮らし応援センター」は、移住支援員や地域移住サポートによる相談体制をはじめ、「空き家情報バンク」の運営など移住希望者の相談にきめ細かく対応し、平成18年の定住相談窓口の開設以来、今年9月末までに、192世帯368人の移住を支援した。

## ■住まいを探す

「空き家情報バンク」萩市内にある使用されていない住宅を、所有者の了解を得て、空き家情報バンクに登録し、UJITターン希望者の住まい（賃貸・売買）として情報提供を行っている。原則として、宅建業者の仲介のもとに契約している。

●情報公開中の物件数 107件（萩57件、川上一件、田万川21件、むつみ7件、須佐12件、旭6件、福栄3件）

●所有者の所在地 山口県外43%、山口県内32%、萩市内25%

萩市内の空き家数は4000戸を超え、空き家率は15%と言われている。空き家をお持ちの萩出身者の方に、空き家情報バンクへの登録を呼びかけている。

## ■「萩暮らし応援事業補助金」

空き家情報バンクに登録している物件を、購入または賃借したUJITターン世帯に対し、空き家の改修費または家賃の一部を補助。

- 対象者 世帯主の年齢が49歳以下または中学生以下の子どもを有するUJITターン世帯
- 改修費補助金 改修費用の2分の1～3分の2以内で、限度額は150～200万円
- 家賃補助金 家賃の2分の1以内で、限度額は月額1～2万円（中学生以下の子ども1人につき、5000円の加算）

\*今年度の募集は終了。

■「空き家家財道具等処分費補助金」

空き家情報バンクに登録している物件を対象に、空き家に残存する家財道具などの処分・搬出に要する経費を補助。

- 補助金 対象経費の2分の1以内で、限度額は10万円。

■「UJITターン促進住宅」

UJITターン希望者を対象とした賃貸住宅を提供。入居者募集はホームページ等で。

- 入居期間は原則3年間。1DK～3DK、家賃7000円～1万9000円。
- 物件数19件（うち入居中16件）

## ■「お試し暮らし住宅」

むつみ地域に、田舎暮らしを体験したい方が利用できる交流施設があり、1日1000円で利用できる。

- 所在地 高佐下79番地
- 2DK～3DK、月額1万5000円～1万7000円（15日または17日を超える場合）

## ■働く

### ■「起業化支援補助金制度」

萩市内での起業を目的として、事業所の賃貸、設備備品の購入等、事業所開設に係る設備投資を行う事業に対し補助。

- 補助率は2分の1以内、補助限度額は50万円。

## ■育てる

■保育料2子目以降同時入所無料化、乳幼児・子ども医療費助成、多子世帯子育て支援金給付、育児に必要な備品や新生児のおむつの購入費を助成する子育て世帯応援事業など、子育ての不安や負担を軽減している。

### ■24時間保育、一時預かり、休日保育、子どもデイサービス、児童クラブ給食サービス、10月に開設した「子育て世代包括支援センター」など、子育て世帯を応援している。

## ■移住支援

### ■「移住支援員の配置」

萩市への移住経験者2人を配置し、移住希望者からの相談対応や空き家案内など円滑な移住と定着を支援。

### ■「地域移住サポーターの配置」

移住者と地域とのパイプ役として市内6地域に各2人計12人を配置し、地域への定着を支援。

### ■「萩暮らし応援サイト」

売りたい、貸したい空き家の情報を公開している。ホームページをご覧にならない方には、掲載物件の資料を送付している。

その他の支援制度については、「萩暮らし応援ガイドブック」またはホームページ「萩暮らし応援サイト」をご覧ください。

萩暮らし応援センター  
TEL 0838-253819  
FAX 0838-263803  
<http://www.city.hagi.jp/site/teijyu/>

## 人口の推移（国勢調査）（各年10月1日現在）

	人口	世帯数
平成17年	57,990	23,093
平成27年	49,560	21,620
	△8,430	△1,473

## 人口動態・人口移動（山口県人口移動統計調査）

	出生数	死亡数	自然減		
平成17年	385	803	△418		
平成27年	256	900	△644		
	転入者	転出者	社会減	計	
平成17年	1,618	2,038	△420	△838	
平成27年	1,313	1,626	△313	△957	



萩暮らし応援ガイドブック

# 子育て支援策 「子育て世代包括支援センター」が10月オープン

妊娠期から子育て期の保護者を支援する「萩市子育て世代包括支援センターHAGU」を、10月2日、保健センター（平安古）の2階に設置した。

若い世代が安心して子どもを生ま育てることができるよう、妊娠から出産、育児の悩みや質問に対応する相談窓口を設置し、助産師・保健師が面接や電話、メールで受け付ける。産後ケアとして、医療機関等での産後ショートステイ、日帰りのデイケアも実施する。開館は平日の午前8時30分～午後5時15分。相談は無料。  
 □専用ダイヤル 0838・25・2022



子育て世代包括支援センター開所式（10月2日）

# 「スーパーはぎ号」8便から16便に増便 新山口駅からのアクセスが便利に

JR新山口駅と萩間を約60分で結ぶ直行バス「スーパーはぎ号」。10月1日から、防長交通が運行する特急はぎ号（東萩駅前～新山口駅新幹線口）が廃止され、新たに防長交通と中国JRバスが共同運行するスーパーはぎ号が、1日8便から16便に増便され、さらに萩バスセンターと東萩駅にも停車

する。増便に伴い運行時刻も変更された。帰省の際には、ますます便利になったスーパーはぎ号をご利用ください。  
 □時刻表（10月改正・1日16便）  
 □運賃 片道1550円（小児780円）  
 （萩市内のみの利用はできません）

## 時刻表

### 新山口⇒萩

新山口駅 新幹線口	萩・明倫 センター	萩バス センター	東萩駅
9:35	10:35	10:38	10:43
10:50	11:50	11:53	11:58
12:15	13:15	13:18	13:23
13:15	14:15	14:18	14:23
14:15	15:15	15:18	15:23
16:15	17:15	17:18	17:23
17:15	18:15	18:18	18:23
18:25	19:25	19:28	19:33

### 萩⇒新山口

東萩駅	萩バス センター	萩・明倫 センター	新山口駅 新幹線口
8:20	8:27	8:30	9:30
10:20	10:27	10:30	11:30
12:25	12:32	12:35	13:35
13:15	13:22	13:25	14:25
14:00	14:07	14:10	15:10
15:00	15:07	15:10	16:10
16:15	16:22	16:25	17:25
17:45	17:52	17:55	18:55

# 「萩市のふるさと寄付」12月1日受付分から 1万5千円以上の寄付に何度でも返礼品

寄付額の増加を目指した返礼品合戦の過熱などもあり、総務省は4月、寄付額に対する返礼割合を3割以下（送料など除外）とするよう通知した。これを受け、全国の自治体で返礼内容を見直す動きが出ている。

萩市では、1万円以上の「ふるさと寄付（ふるさと納税）」をしていただいた市外在住の方に対し、萩の特産品を送付しているが、12月1日受付分から、返礼品送付に係る運用を次のとおり変更する。

## ■変更内容（返礼品送付の寄付額と回数）

【変更前】1万円以上の寄付者に

つき、返礼品の送付は1年に1つのみ。  
 【変更後】1万5千円以上の寄付者につき、1年に何口でも申込み可能。その口数に応じて何度でも返礼品を送付。

萩市の返礼品には、萩ならではの海の幸・山の幸や伝統ある萩焼など、魅力的な134品目を用意している。また、返礼品の出荷が地元の地場産業に貢献している。

寄付額は今年9月末現在で約1965万円（1829件）で、昨年同期を下回っている。昨年度の寄付総額は約9081万円（7181件）。

寄付の申し込みは、ポータルサイト「ふるさとチョイス」からが便利。その他、電話、メール、ファクスでも受け付けている。  
 萩市の更なる発展のため、温かいご支援をお願いいたします。  
 ■問い合わせ 萩市企画政策課  
 （0838・25・3342）



134品目の返礼品を掲載

# 山陰自動車道 (益田～萩間) の整備状況は

平成29年4月に阿武町木与付近が新規事業化されるとともに、優先整備区間に選定されている「益田市小浜～田万川間」、「大井～萩間」の2区間は、計画段階評価が進んでいる。

8月に国交省中国地方整備局が、社会資本整備審議会道路分科会で審議されルート案が公表されるなど、事業化に向けて一歩前進した。

早期の全線整備を目指すため、決起大会が10月27日に萩市内で開催された。



山陰道(益田～萩間)の整備状況

## 山陰自動車道

鳥取県鳥取市を起点とし、山口県下関市を終点とする延長約380kmの高速道路。道路開通率は、鳥取県内65%、島根県内55%に比べ、山口県内は13%と低くなっている。

- 益田～萩間(約70km)
- 「須子～田万川間」(約12km)は、「益田市小浜～田万川間」(約5km)と、隣接する区間「益田市須子～小浜間」(約7km)が一体的に整備が進められる。
- 「阿武町木与付近」(約5km)は今年4月に事業化が決定され、測量や地質調査が進められている。
- 「大井～萩間」(約15km)は、

8月に3つのルート案が発表された。国交省中国地方整備局は、自然環境の保全や生活環境、世界遺産群・景観への影響などに配慮し3ルート案を選定した。今後、観光地へのアクセス、集落や主要施設への連絡性などのアンケートが実施される予定。

山陰道・益田～萩間の全線整備に向けて、一歩ずつ前進している。藤道萩市長は、次のコメントを発表した。「山陰道は、災害時など緊急時にも確実に機能する代替性を確保し、沿線住民の安全・安心な生活と産業・観光の振興を支える道路として地域の発展に必要な不可欠な社会基盤です。

今後も山陰道(益田～萩間)の早期全線開通を目指し、まずは、「益田市須子～小浜間」、「小浜～田万川間」、「大井～萩間」の早期事業化に、関係者と力を合わせ全力で取り組みたい。」

# 小郡萩道路 (絵堂～萩間) の整備状況は

萩市と山口市小郡を結ぶ地域高規格道路「小郡萩道路」は、平成23年5月に中国道と連結する美祢東ジャンクション～絵堂インター

チェンジまでの約13kmが開通。高速道、山陽方面への所要時間が短縮され、アクセスが格段に良くなった。

全線開通すれば、萩市内から山口宇部空港までは71分と16分短縮、JR新山口駅までは55分と9分短縮される。

未整備区間の絵堂インター～萩間は平成26年度の国の補助事業に採択され、山口県は美祢市美東町絵堂から萩間の測量と設計を進めている。

事業着手から10年後、平成35年度中に全線開通の予定。

## 小郡萩道路

山口市小郡と萩市を結ぶ約30kmの地域高規格道路。平成9年に事

業着手、23年に小郡から絵堂まで約13kmが開通。

■ 絵堂～萩間(約15km)  
美祢市美東町絵堂～萩市椿間は、「一般国道490号絵堂萩道路」として、国の平成26年度新規事業化が決定した。

絵堂インターと「山陰道萩二間道路」萩インター付近を結び、途中に明木インターが設けられる。□ 絵堂インター～明木インター間(約9km)は、バイパス区間として新規に整備される。

□ 明木インター～萩インター間(約6km)は、当面、旧萩有料道路と国道262号の現道を活用する。

## 小郡萩道路の整備状況



# 萩市と姉妹都市の韓国・蔚山広域市 来年が締結50周年

萩市と韓国・蔚山<sup>ウルサン</sup>広域市は、1968（昭和43）年に日韓で最初の姉妹都市提携を結んだ。蔚山広域市は韓国財閥の現代<sup>ヒョンダイ</sup>グループの企業城下町で、韓国第一の工業都市である。

姉妹都市締結時の人口は萩市が5万3千人、蔚山市は9万6千人。その後、萩市は2005（平成17）年に市町村合併で現在の面積699km<sup>2</sup>、人口4万1千人、蔚山市は1997年に広域市に昇格し、現在の面積1057km<sup>2</sup>、人口約116万人となった。

## 蔚山広域市昇格20周年記念式典

9月28日に蔚山広域市において広域市昇格20周年記念式典が開催され、萩市から藤道健二市長が出



蔚山広域市の金起炫（キムギヒョン）市長（左）と萩市の藤道健二市長



姉妹・友好都市の歓迎レセプション

席した。蔚山広域市の世界14カ国19都市の姉妹・友好都市が招待され、同市との姉妹都市関係が49年と最も長く、両国間で初となる姉妹都市でもあることから、萩市は最上級のおもてなしを受けた。

蔚山広域市長からは「姉妹都市締結50周年となる来年、萩市民団を招待し、盛大に周年行事を実施したい」との申し出があった。

藤道市長は「韓国は最も重要な隣国であり、安全保障面でも両国の緊密な連携は不可欠。このため民間交流は閉ざしてはならず、萩市としてもサポートするとともに、一層の人的交流や経済交流に発展させていきたい」と話している。

## 道の駅・萩しーまーと通信

## 旬のお魚「戻りガツオ」

カツオといえば高知県や静岡県イメージですが、萩でも獲れたてのカツオを楽しめます。しかも、秋の戻りガツオは春の初鰹とはまた違うおいしさです。

太平洋側で2月頃から黒潮にのって北上し、水温が下がる10月頃から次第に南下するイメージが強いカツオ。実は日本海にも同じように対馬暖流系群として北上し、また西へ下るように回遊するカツオの群れがあります。萩沖にも群れをなして現れ、一本釣り漁や定置網に交じって水揚げされています。

春に獲れる初鰹はあつさりした味わいで香り豊か。一方、秋のカツオは北の海でエサをたっぷり食べて育ち、丸々としてトロのように脂乗りたつぷりです。

### 萩で水揚げされるカツオ

さて、カツオにも種類があるのを存じでしょうか。萩で水揚げされるカツオは5種類。

「スマ、本ガツオ、ハガツオ、ヒラソウダ、マルソウダ」

旬の時期も、ハガツオが10月、スマと本ガツオは11月から12月にかけて脂が乗ってきます。最も評価が高いのはスマ。萩ではヤイトガツオとも呼びます。本ガツオに

劣らないほど脂乗りがよく、知る人ぞ知るうまい魚。萩では天然のスマが手に入りますが、県外ではトロの代用として養殖をしている地域もあります。

萩ではハガツオも人気です。スジガツオとも呼ばれます。本来身が柔らかいカツオですが、ハガツオはタタキにすると締りがあり食感も加えて楽しむことができます。毎日新鮮な魚を食べる萩の人はタイやヒラソウなどコリコリした食感の魚を好むのでハガツオの人氣もわかる気がします。

### 焼き霜造りがお勧めです

新鮮なカツオはぜひお刺身で。特に焼き霜造りがお勧めです。皮をつけたまま炙ると余分な脂肪や生臭さがとれ、かたい皮もおいしく食べることができます。カツオも皮と身の間に旨みがあります。また、旬を迎えたカツオは脂がとても多いため、ニンニクやショウガよりも、大根おろしにゆず吉やかぼすなど地元の柑橘を搾って醤油を少しかけると食べやすくなります。



スマ



本カツオ



カツオ刺身



ハガツオ

### ■お魚の日(第2日曜)イベント

11月12日 (日)	萩産ヒラマサ刺身無料試食(200名分)9:30~ 秋しらす雑炊ミニ無料試食(100名分)11:30~
12月10日 (日)	萩産ヨコワ握り無料試食(200名分)9:30~ バイ貝炊き込みご飯ミニ無料試食(100名分)11:30~

## 森川 翠水さん

もりかわ すいすい  
 (旧田万川町小川出身、萩高校  
 昭和38年卒、72歳)



森川翠水・京子夫妻

## ふるさと萩個展を終えて

### 萩の原風景など70点の新作

2017年8月17日から29日まで萩市民館で開催された個展が、陰様で盛会のうちに終了となった。生家は市内から遠く離れていて、近くには親戚も知人も少なかったのにも関わらず、一度観て下さった方が友人や家族を連れて再び来てくださるようになり、日を追う

ごとに入場者は増え1500人を超えた。昔のお弟子さんや長年のファンの方など北九州市や名古屋、横浜などからも駆けつけてくれた。最終日の会場は地元小川地区の方々が溢れたが、地域の防災無線で知らされてやって来られたのだという。もつとも、心配していたのは、高い天井のコンクリート打ちっぱ

なしの壁面にうまく展示できるかだったが、東京で長年お世話になっていた表具店湯山氏のおかげで、70点の新作をこちらが思い描いた以上に、会場いっぱい不思議なほどピタリと収まった。

2点以外はすべて個展開催が決定してからの2年間に現場でスケッチし、東京に戻って仕上げた新作ばかりだった。窯場や町の風景、漁村、世界遺産、田園風景、書作品、そして会場のアクセントに萩で出会った旅人や若者など線描き主体の大作3点、これらが広い会場にうまく溶け込んでくれた。役所の人からもこのままここに展示しておきたいくらいだとの声があった。

### 来場者との心通じる出会い

なにより感謝しているのは、高校時代はほとんど話をしたこともなかった同級の女性たちが毎日4人体制で手弁当で受付などを手伝ってくれたことだった。妻はなんだか親戚ができたみたいに安心して甘えてしまっていたという。手伝ってくれた方たちからは楽しかったと言われてほっとした。見に来て下さった方がたとも新たに心通じる出会いが生まれた。こういう水墨画をはじめてみたと言う方、画や書や文化を愛する人たち、昔遊んだ場所だといいながら懐かしそうにながめる人。

しあわせだあ・母ちゃん連れて来ればよかったなあと座り込んで見ている人。市民館の掃除をしているおばさんが休憩時間に丁寧にしてくれて、再び休みの日に認知症だという夫の手を引いて来てくださったのには感激だった。会期中に行なった展覧や妻のハープ講座にもたくさんの方が来てくださってうれしかった。

萩市に寄贈した33点のうち、明倫学舎に16点、その他小、中、高校公民館、市役所、市民館などの公的施設や文化施設に常設展示されることとなった。2年間ふるさと個展に注いできたエネルギーが燃え尽きてやや脱力状態であったが、いつの日か己の画と対面した時に直視に耐えうる事を念じつつ、命ある限り精進したいと思う。

### 夫婦で記念出版

ふるさとでの個展開催を記念して出版したささやかな新刊「墨とハープのあるふつうの暮らし」も萩博物館や明倫学舎での販売も決まり、読んだ方からすぐにうれしい感想をいただいた。ふとした時間小さな物語のように見たり読んだりしてもらえたらありがたい限りである。

お世話になった前市長野村氏はじめふるさとの方がた、遠方から駆けつけて下さった方がた、お祝いや励ましをいただいたたくさん

の方がた、こまかな気配りをしてくださった萩市役所の方がたに深くお礼を申し上げます。ここに感謝とともに報告いたします。

### プロフィール

1945(昭和20)年、田万川町上小川生まれ。萩高校昭和38年卒業(15期)。本名、森川安明。

書家・水墨画家の内山雨海に師事。翠水舎主催、銀座鳩居堂を中心に個展19回。モナコ・日本芸術祭カミーユ賞、パリ・モンパルナス美術館長賞などを受賞。2012年、南仏アヴィニョンにて個展開催。パリ・ベルシー博物館にタイル画「セニオン」を永久保存。河口湖美術館に「富士」を収蔵。

著書は「森川翠水 墨画を創る」、「水墨画士達の極意」、「余白の力」、新刊「墨とハープのあるふつうの暮らし」共著。



夫婦の共著「墨とハープのあるふつうの暮らし」日貿出版社

定価2000円(税別)

# 森川翠水作品集



上小川

阿武郡全体の患者を一人で診ておられた  
歯医者さんが私の部落に居られた



浜崎漁港

朝にはたくさんのしらすがいっぱい水揚げされる



反射炉

これまで電車の中からしか眺めていなかったが、世界遺産になってはじめて  
近に行きスケッチした



藍場川の洗い場

不思議な発想だが、それは生活  
そのものであったのであろう



明倫館

萩藩の人材育成の中核を担い、  
多くの先覚が志を立てた



漁師町

玉江の人々にとっても大切な建物だと思  
うけれど、風景の中心になっている

## 萩の歴史や文化をさまざまなグッズに

### シリーズ萩の逸品④

### まるごとにつぼん「萩の風」(東京・浅草)取扱商品

ここ数年、女性を中心に人気沸騰中のマスキングテープ。今や、ラッピングや各種デコレーションのマストアイテムとして不動の地位を築いています。そこで、萩市の魅力的な素材をマスキングテープに取り入れることで、幅広い年齢層の方々に萩の魅力を手軽に知ってもらおうと、有限会社松陰堂印刷所が3年前に商品開発、現在では萩市内の土産品店等を中心に商品が取り扱われ、人気を集めています。

「鬼ようず」は、萩・見島の大凧「鬼ようず」は、長男が生まれた正月に、子ども達の健やかな成長を祈って揚げられる伝統工芸です。

萩の5資産(萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡、萩城下町、松下村塾)を含む「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録されました。

### 3種類の「萩」マスキングテープ

### 有限会社 松陰堂印刷所

#### 「明治維新の偉人」

萩市大字熊谷町63

#### 「まるごとにつぼん「萩の風」

TEL 0838・22・1021

#### 「世界遺産」

TEL 0838・22・1058

#### 「鬼ようず」

午前8時～午後5時(定休日曜・祝日)

#### 「見島の大凧」

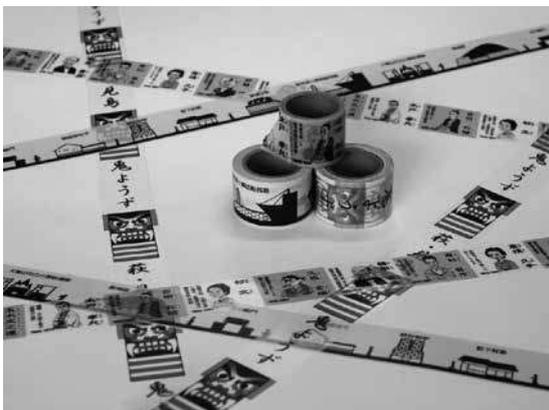
TEL 03・5828・5055

#### 「世界遺産」

TEL 03・5828・5055

#### 「見島の大凧」

TEL 03・5828・5055



マスキングテープ  
(1個600円、3個組1,600円)

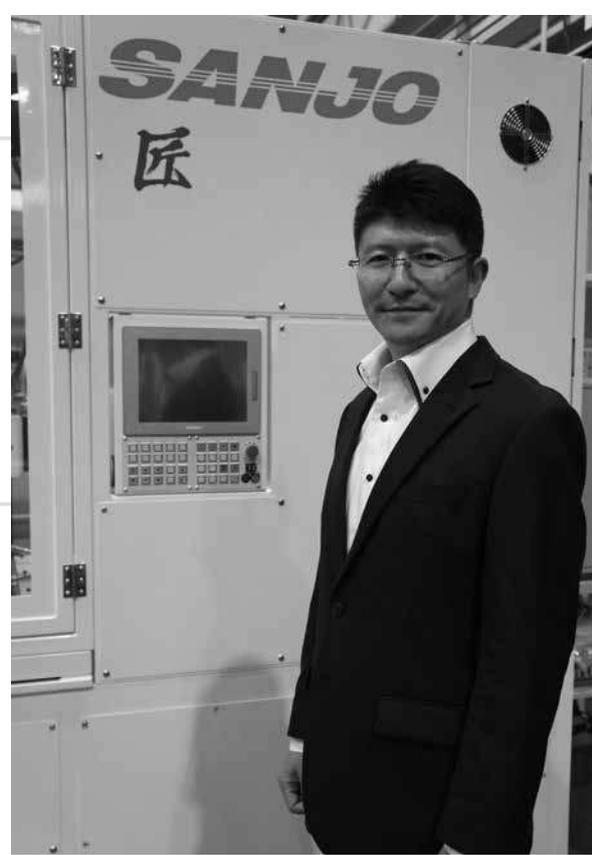


明治維新の偉人かるた (1,400円)・  
トランプ (1,300円) いずれも税別

## 日本が誇る最先端技術 プラスチック射出成形機の開発・製造

さんじょう  
株式会社 山城精機製作所

ひょうぶ まさとし  
代表取締役社長 兵部 匡俊 さん (43歳)



代表取締役社長・兵部匡俊さん

萩市椿沖原に萩工場を構える株式会社 山城精機製作所。プラスチック射出成形機の製作で一時代を築き、現在では、大手自動車メーカーや大手電気・電子機器メーカーなどを顧客に、オーダーメイドプラスチック射出成形機を提供し、日本が誇る最先端技術の一翼を担う企業となっています。その山城精機製作所の代表取締役社長・兵部匡俊さんにお話を聞きました。

### 萩との縁

山城精機製作所は今から61年前、1956年に創立した業界では歴史の古い会社です。創立者は山口県阿武町出身の堀勇夫氏。プラスチック成形機が世界で初めて発明されたのは1921年。工業分野で大量に使用されるようになったのは1950年代からです。

初代に先見の明があったことがうかがえます。

1965年に国内初のスクリーン式型射出成形機を開発し、この分野において一時は業界シェア50%を占めるまでとなりました。萩工場を設立したのは、ちょうどその頃で、当時の萩市長や萩商工会議所会頭からUターンの受け皿をと要請を受け、72年に萩工場を設立したと聞いています。その後、堀勇夫氏のご子息・堀信夫氏が跡を継ぎ、事業拡大に成功し、87年山口県美祿市に金型工場を建設するなど山口県との関係がより深い企業となります。

### 経営再建

その後、1990年代のバブル崩壊のあおりを受け、成形機業界も冷え込み、これまで横型機主流のメーカーもシェア拡大の戦略で型機を製作し始めた事により、これら競合他社との競争が一段と激しくなりました。こういった背景から、山城精機製作所は経営が困難な状況に陥ります。また、後継者不在という事で会社の生き残りを考えた堀信夫氏から相談を受けたのが、ミライアル株式会社(東証1部)でした。以後、1部上場企業の子会社として、新たな歩みを進めていくことになりました。とは言え、リーマンショックの影響もあり、経営状態はなかなか

好転しませんでした。経営再建に向け、さまざまな手を打ちました。海外販路を求めて海外拠点を設置したり、大手に価格勝負を挑むモデルを開発したり。しかし、いずれもうまくはいきませんでした。振り返りますと当時は、「世界に1台しかない特殊機を、お客様と一緒に創り上げる」という山城精機製作所の生き方を忘れていたような気がします。試行錯誤の過程で、「競合大手と同じ土俵では戦わない」という戦略の方向性を改めて共有した時期でした。

### 人不足時代へ

2010年にミライアル株式会社の完全子会社となってからは、組織のスリム化を進めて守りを固めると同時に、全従業員が一丸となって、山城精機製作所らしい製品開発に注力し、山城独自の攻め方を追求してきました。結果、市場の好転にも支えられ、足元では堅調な業績で推移することができています。また、近い将来の3期連続増収増益達成を目指して、皆で準備をしているところです。

補うシステムを導入しながら、技術者を育てていかなければなりません。

苦しかった時期は市内高校への求人控えていましたが、現在は僅かですが求人を募集しています。萩で就職しても東京本社や名古屋営業所などへの転勤の他、海外出張の機会も多くあり、いろいろな土地で学ぶこともできます。

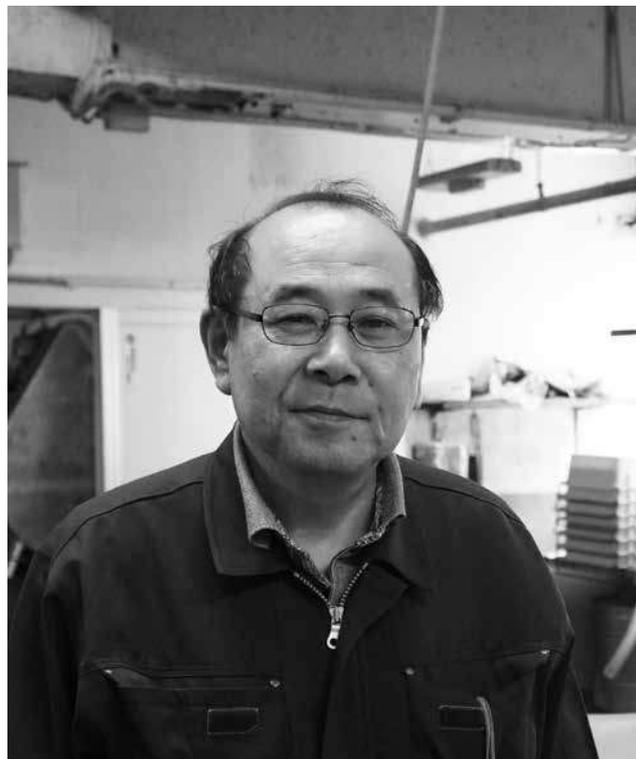
明治維新を成し遂げた萩出身の偉人のように、郷土愛を持ちながら世界を舞台に戦いたいという若者が門を叩いてきてくれることを心待ちにしております。

### 株式会社山城精機製作所

本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-24-1 ニッセイ池袋ビル15階  
美祿工場 〒759-2222 山口県美祿市伊佐町伊佐2050  
萩工場 〒758-0061 山口県萩市大字椿沖原436  
TEL 0838-22-6123



プラスチック射出成形機



有限会社 高井蒲鉾

藤井 信介さん

(59歳、萩高校昭和52年卒)

江戸時代からの屋号と  
100年前から伝わる  
「殿さま蒲鉾」の味を守る

動会前などもすごく忙しかったので。販路も県内の結婚式場から広島、福岡のスーパーまであり、休む暇も無かったです。

最後の代

個人事業所から有限会社に移行したのは今から26年前。それから10年後、父から代を継ぎ社長に就任しますが、ちょうど時期を同じくして、町のスーパーから全国展開する大手スーパーが台頭してきた時代で、問屋からバイヤー主導の市場に変化してきました。大手スーパーと取引するには生産力が追いつかない。さらに食文化も変わり、食卓に当たり前にあった蒲鉾も当たり前ではなくなり、蒲鉾全体の消費量も少なくなりました。そのため、この萩市でも多くの蒲鉾店が店を畳むこととなり、残す

ところあと5社となりました。現在、高井蒲鉾の生産量も全盛期の5分の1ほどとなっています。子どもは3人授かり、男の子は2人いますが、さすがにこのような状況で、跡を継いでくれとは到底言えず、私の代で高井蒲鉾の歴史を閉じることとなるでしょう。とはいえ、2年前には冷蔵庫のユニットを新調したばかりなので、私の体が元気なうちは、曾祖父から伝わる高井蒲鉾の味と、江戸時代からの屋号を守っていきます。高井の蒲鉾をまだ食されていない若い世代の方には是非一度ご賞味いただきたく思います。

全盛期

私は生まれた時は、伯母・清子はまだ健在で、とても繁盛し、両親も働き詰めで、幼少期は、家に帰っても両親はおらず、冷めた白米に塩をかけお茶漬けにして食べていた記憶があります。また、工場はとても活気があり、従業員も多く、幼心にこの高井蒲鉾を継ぐのだろうなど自然と感じていました。

家業に就いたのは、大学を中退し、岡山でサラリーマン時代を数年過ごしたあとの24歳のころ。当時も変わらず活気もあり、年末はもちろん、端午の節句、入学祝い、就職祝い、婚礼の引き出物という祝い事の受注だけでなく、運

100年の歴史

高井家は毛利藩の下級武士として、江戸開城まで出兵したと聞いています。初代・藤井信一がこの浜崎新町で創業したのは明治38年で、当時は仲買商と蒲鉾製造を一緒にやっていたそうです。初代で

今から102年前の明治38年に創業された老舗蒲鉾店・高井蒲鉾。今もお創業当時と変わらず新鮮なエソを石臼ですり潰して作る蒲鉾は知る人ぞ知る萩の特産品として贈答用に好まれています。

その高井蒲鉾の4代目である有限会社 高井蒲鉾 代表取締役社長・藤井信介さんにお話を聞きました。

ありながら屋号と性が違うのは、高井家から藤井家に取り子取り嫁で養子に入ったからだそうで、江戸時代からあつた高井姓を無くすのは忍びないと屋号として残したからと聞いています。

初代は天ぶらなども製造していたそうですが、蒲鉾と竹輪(ちくわ)に限定したのは昭和5年に初代の跡を継いだ伯母・清子です。父の兄弟は10人姉弟で伯母・清子が長女。そして3代目となる父・茂美が10番目の長男。跡取りとなる父は清子伯母と20歳離れ、戦争に出兵することのない年代でした。そう考えると、高井蒲鉾が私の代まであるのはちよつとした奇跡のように思えます。

家業に就いたのは、大学を中退し、岡山でサラリーマン時代を数年過ごしたあとの24歳のころ。当時も変わらず活気もあり、年末はもちろん、端午の節句、入学祝い、就職祝い、婚礼の引き出物という祝い事の受注だけでなく、運



殿さま蒲鉾 (贈答用、法事、婚礼) 620円、510円



萩ちくわ(5本入り) 375円 \*いずれも税別価格



萩蒲鉾 (アトラス萩、サンマートで販売) 340円

有限会社 高井蒲鉾 〒758-0023 萩市浜崎新町60番地 TEL0838-22-1851 <http://www.takaikana.com/>

# 連載 萩の産業遺産を歩く(三)

―郡司鑄造所跡②(椿東・松陰神社前)―

道迫真吾(萩博物館主任学芸員)

## 郡司鑄岐による鑄造所の開設

松本の郡司鑄造所は、郡司鑄岐により開設された。鑄岐は、寛永年間(一六四一―一六四四)初代藩主毛利秀就に召し抱えられた。理由は、鑄岐の大砲鑄造技術が優秀だったからである。鑄岐は隠居後、三男の喜兵衛(信安)に鑄造所を受け継がせた。なお鑄造所は最初、金鑄原(伊藤博文旧宅の西向かい)に開設され、後年、無田ヶ原に移転したといわれるが、いつのことかははっきりしない。

**鍋・釜・大砲づくりの拠点**  
郡司家の鑄造所は、大砲だけでなく、江戸時代を通じて様々な金属製品を生産する工房であった。遺跡の発掘調査では、鍋・釜などの日常生活用具、犁先などの農具、寺院の梵鐘そのほか、鑄型が多数発見されている。しかし何といても、幕末、多数の大砲を生産し

ていたことに目を引かれる。実際大砲鑄造に用いられた鑄型が確認されており、萩博物館では所蔵先の山口県埋蔵文化財センターからその一部を借用して展示している。

幕末、鑄造所を切り盛りしていたのは、郡司鑄岐の三男喜兵衛の系統に連なる鑄物師、郡司右平次(喜平治)である。右平次は生涯に、一三〇門もの大砲を造つたとされる。彼の大砲生産量が増えるのは、清国(中国)でアヘン戦争のあつた一八四〇年前後からである。ただし、一口に大砲といっても、右平次が造つた大砲には和式と洋式の両方が混在していた。そのうち洋式大砲は、モルチール砲・ホイッスル砲の二種類が主で、長さ

は概ね一〜二mと、和式大砲とはほとんど差がなかった。

しかし、嘉永六年(一八五三)のペリー来航を境に、より長く、大きな大砲が必要な段階に入る。右平次の三mを超える巨砲生産(実践)を知識面(理論)で支えたのは、以下に見ていくように、郡司千左衛門(寛之進)である。

## 郡司千左衛門とペキサンス砲

郡司千左衛門は、長州藩における洋式砲術の第一人者と呼ぶべき人物である。千左衛門は、鑄物師の右平次とは異なり、砲術師という立場にあつた。要は、右平次は大砲を造る側、千左衛門は大砲の知識を供給する側というふうに区別すると、わかりやすいと思う。ちなみに千左衛門も、右平次同様、元をたどれば郡司鑄岐を先祖にもつため、同じ郡司家の一族である。それでは、



△郡司千左衛門(郡司家提供)

郡司千左衛門は、長州藩に於ける洋式砲術の第一人者と呼ぶべき人物である。千左衛門は、鑄物師の右平次とは異なり、砲術師という立場にあつた。要は、右平次は大砲を造る側、千左衛門は大砲の知識を供給する側というふうに区別すると、わかりやすいと思う。ちなみに千左衛門も、右平次同様、元をたどれば郡司鑄岐を先祖にもつため、同じ郡司家の一族である。それでは、

## 郡司右平次へのバトンタッチ

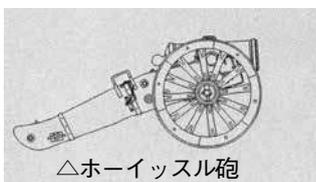
長州藩はこの意見を受け、嘉永六年八月、ペキサンス砲鑄造の方針を固めるが、二つ問題が発生した。一つは、同年十一月、幕府が長州藩に相州警衛(相模国側の江戸湾防備)を命じ、千左衛門が関東に派遣されたことである。萩における巨砲鑄造の指導を期待された彼の不在は大きな痛手となつた。

千左衛門が必要だと訴えたペキサンス砲は、ボンベカノン砲とも称された。炸裂式の砲弾を使うため、従来の丸い砲弾をただ飛ばすだけの大砲に比べて破壊力が桁違いにパワーアップしている。さらに注目すべきは、モルチール砲・ホイッスル砲では、西洋の軍艦に対して遠距離射撃ができないから、ペキサンス砲がほしいと強調したところである。なお千左衛門

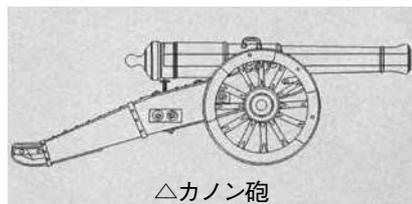
もう一つは、それまで右平次の鑄造所では長くてもせいぜい二m程度の大砲しか鑄造したことがなかったため、三mを超える巨砲を鑄込むことのできる新しい設備が必要になつたということである。千左衛門からバトンを受け継いだ右平次がこの困難をどのように克服したのか、次回説明したい。



△モルチール砲



△ホイッスル砲



△カノン砲

## 劇団四季の瀧山久志さん 「岩谷時子賞・奨励賞」を受賞

劇団四季のミュージカル『アラジン』でランプの魔人「ジーニー」役などを務める萩市見島出身の瀧山久志さん（東京都）が、音楽や演劇界の明日を担う人材や功労のあった人物に贈られる「第8回岩谷時子賞・奨励賞」を、6月12日受賞した。

瀧山さんは、見島小中学校を卒業後、萩高校に進学（54期卒）。高校では合唱部に入部し、生涯の恩師となる有富美子先生と出会う。



瀧山さんは後列右（岩谷時子音楽文化振興財団提供）

〔左から〕市村正親、生田絵梨花、斉藤由貴、岩谷時子（写真）、加山雄三、瀧山久志、野田あすか、服部百音（敬称略）

有富先生の熱血指導により歌の魅力に取りつかれ、才能を伸ばした（萩ネットワーク2016年11月号、ズームアップで紹介）

瀧山さんは、2015年に開幕した劇団四季のミュージカル『アラジン』ジーニー役のほかに、『キャッツ』アスパラガスIIグロートルタイガー役なども務め、艶のある歌声とコメディタッチの演技で観客を魅了し、今後さらなる活躍が期待される俳優として評価された。

受賞式で瀧山さんは、次のとおりコメントを発表した。

「私は、山口県萩市見島という島で生まれ育ちました。本土から船で1時間以上かかります。コンビニもなければ信号機もありません。田舎自慢ではいまだに負けたことがあります。不便ですが（笑）。そこで走り回っていた時には、まさかこんな日が来るとは夢にも思っていませんでした。

劇団四季の理念に『作品の感動を丁寧に客席に届ける』というのがあります。舞台俳優として、これからもいろいろな作品に携わって、理念としつかり向き合って精進していきたいと思えます。」

## 阿武町の元気を全国に発信!! ABUウォーターボーイズ

### 24時間テレビで生演技

毎年夏の風物詩ともなっている、日本テレビ系列の「24時間テレビ〜愛は地球を救う〜」の全国中継が8月27日、道の駅阿武町の温水プールから行われ、ABUウォーターボーイズが、男のシンクロを披露。全国へ向けて町の元気を存分に発信しました。

当日は、早朝の中継にも関わらず、プールには100人を越える

応援団がかけつけ演技を後押し。日本武道館からのフリで中継がスタート。メンバー12人がレキシンの「K.M.T.R.646」に合わせて、コミカルな陸ダンスやメガホンを使った水演技、豪快なジャンプを披露しました。

また、27日夕方にはウォーターボーイズ夏公演も同プールで開催。24時間テレビ山口ローカルの中継も入る中、県内外から450人を越える人が訪れ、笑顔溢れる演技を楽しみました。



### 地域を盛り上げたい と町内外から若者が 参加

ABUウォーターボーイズは2010年5月に、町の活性化と温水プールの利用促進を目的に有志により結成。水深1.2mの道の駅阿武町温水プールをホームとして、男子シンクロナイズドスイミング（?）の公演を、毎年夏と冬に行うほか、小学校等への出張公演も行っています。

メンバーにシンクロ経



験者はおらず全員社会人で、平均年齢は28・5歳。阿武町はもちろん、萩市・長門市・防府市からも「地域を盛り上げたい」と参加があり、マネージャーを含め15人で活動をしています。

### 次回公演は12月9日 阿武町のイルミネフェスタで

活動する社会人男子シンクロチームは珍しく、回を重ねるごとに人気が高まっています。

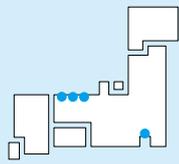
目の前30cmの距離で海パン男子が披露するコミカルな陸ダンスと、プールでの豪快なジャンプや水をしぶかせながらの演技は必見。

次回公演は12月9日、町内の企業や団体が手作りのイルミネーションで道の駅阿武町を彩る「イルミネーションフェスティバルin阿武町」の点灯式後に予定されています。温水プールだからこそできる真冬の公演を、ぜひ一緒に体感してみませんか？

（問）阿武町まちづくり推進課

（083888・2・3111）

## 同窓会・同郷会だより



情報  
ください  
!

「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。  
hagi-network@city.hagi.lg.jp

会員投稿



9月9日 銀座アスター賓館(お茶の水)

### 第17回東京三見会



子どもの時一緒に遊んだ幼なじみに会いたいと、新しく4名の方が参加され、総勢27名の出席です。三見公民館から送っていただいた「三見公民館便り」と「三見おたからマップ」を見ながら、懐かしい三見の話で盛り上がりました。おたからマップは、今まで知らなかった三見の歴史も分かり易く書かれていて、ふるさとへの愛情が深まります。2次会は恒例、神田明神に参拝をして、境内の甘酒茶屋で甘酒をいただきました。

坪井 良子 (東京都)

会員投稿



10月8日・9日 浜田市・益田市・萩市

### 須佐・東京交流歴史探訪ツアー



須佐郷土史研究会東京支部は200回の例会を記念し、須佐領主益田氏縁の地を巡り、須佐に至る旅を計画し14名が参加。浜田市では、益田氏が地盤を築いた伊甘神社国府跡、御神本を称した3代の墓を安國寺に訪ね、午後益田市の三宅御土居跡を見た後、石見美術館で「石見の戦国武将」展を見学。交易で勢力を拡大したのが良く分かった。石州口の戦跡を見た後、郷土史研須佐本部との交流会。翌日は萩博物館の「山尾庸三」展を見学。

須佐の基盤を作った益田氏の歴史、日本の工学の父と言われる長州ファイブの一人の偉業等、来年の「明治維新150年」に改めて思いを巡らす旅行だった。

須佐郷土史研究会東京支部 幹事 尾木 純 (横須賀市)

会員投稿



8月16日

萩グランドホテル天空(萩市)

### 明木中8期(昭和29年卒)同期会



2年振りに同窓会を行いました。なかには30年振りの再会者もあり、握手や抱き合う光景は、まさに旧友の懐かしさ一色でした。懇親会の1次会では、ゲームやクイズで盛り上がり、2次会は、カラオケスナックで演歌のオンパレードでした。3次会は、部屋で思ひ出話に花が咲き全員夜更けを忘れて午前様でした。翌日は、世界遺産の萩反射炉や恵美須ヶ鼻造船所跡、さらに萩・明倫学舎を見学し、とても楽しかった2日間でした。来年も元気で再会する事を誓い散会しました。

発起人代表 中村 勝(明木)

会員投稿



10月14日 萩商工高校体育館

### 第9回つばき会本部総会



500名を超える参加をいただき盛大に開催されました。総会の中では、池田つばき会会長より引受期の卒業年統合について、平成32年より実施する旨の説明がありました。また、今回の引受期で企画した、かつて萩商業・萩工業で勤務されていた7名の恩師の方々をお招きし、会員との昔話に花が咲きました。「つばき会」本部総会は、第1回よりチケット販売による運営に切り替え、まさに「同窓生による同窓生のための同窓会」を行ってきました。私たちの引受は終わりましたが、これからは応援団として総会への出欠の有無は問わず協力できるところは率先して協力していきたいと思っております。

引受期代表 (商業56年卒) 大嶋直隆

# 萩商工創立以来、初めての全国ナンバーワン 「インターハイ少林寺拳法」で全国優勝

全国高校総体（8月、宮城県）の少林寺拳法・男子単独演武で、萩商工高校3年の山元隆史君が優勝、阿曾沼敏康君が4位入賞を果たした。少林寺拳法が2014年に正式競技になって、山口県選手の優勝は初めて。44回目となる全国大会でも初となる。

山元君は、萩西中ではサッカー部、高校に入り幼なじみの阿曾沼君に誘われ入部。今大会を最後に、卒業後は競技から離れる予定。阿曾沼君は、小学2年から競技を始めた。今回1、2位との差はわずか1点、3位とは同点だった。

卒業後も少林寺拳法と関わってみたいと話している。二人は同じ小・中学校から萩商工高に進学。同じ時間を過ごしてきた仲間であり、ライバルでもある二人は、悔いのない爽やかな笑顔を残した。

少林寺拳法部顧問の高井英次教諭（三見出身、萩高校昭和50年卒）は、2005年から萩商工で指導を始めた。「二人ともこれで真面目に練習に取り組んだ成果を発揮し、最後の舞台で最高の演武だった」と指導13年目での快拳を喜んでいる。



左から山元隆史君、高井英次教諭、阿曾沼敏康君

## マイフィット萩・木原賢一郎さん 山口県ボディビル選手権大会で優勝

山口県ボディビル選手権大会（9月、山口市）で、フィットネスジム「マイフィット萩」（椿東）代表・チーフトレーナーの木原賢一郎さん（33歳、前小畑出身、萩工業高校平成15年卒）が優勝を果たした。木原さんは、20歳のときに全日本空手選手権大会で優勝。21歳、ニューヨークへ拠点を移し、空手全米大会で2度優勝。25歳で帰国し東京で、アメリカ発祥の本格的なジム「ゴールドジム」のプロトレーナーとして勤務。平成27年に帰郷し、フィットネスジムをオープンした。ボディビルへの挑戦は昨年に続き2度目（前回3位）で、来年の夏に中四国大会が控えている。

「ボディビルを始めた動機は、目標を持つことでトレーニングへのモチベーション向上や、食事面などトレーナーとしての勉強のため。当ジムでは年齢や性別、目的に



優勝の表彰台に立つ木原賢一郎さん(中央)

合ったトレーニングをサポートするので、初心者の方も安心して健康な体づくりに取り組んでほしい。」と木原さんは話す。

■マイフィット萩  
萩市椿東3025・5(旧アミューズトマト)  
TEL0838・217223

## 「萩往還明木自然薯」を特産品に

明木自然薯研究会（栽培農家は8人）は、周辺の山で採れる自然薯を明木の特産にしようとして15年前に発足。明木小学校児童に栽培指導も行っている。

水田跡を活用した5カ所のほ場40アールで栽培し、毎年11月から1月にかけて、約2千本を出荷している。萩市内の道の駅や農産物加工販売所「つつじ」で販売。

粘りが強く甘みがあるのが特徴。贈答品としても人気が高く、ふるさと寄付の返礼品としても50個限定で提供している。

会長の岡村善武さん（78歳）は「自然薯のネバリが美容と健康をサポート。高級食材で希少価値の高い自然薯の醍醐味は、一度食べればわかる忘れられない味です」とPRしている。



岡村善武さん（明木）  
「萩往還明木自然薯」を今年9月に商標登録

☆読者プレゼント  
自然薯むかご（150g入2袋）を10名様

# 情報アラカルト

## 関東地区

### ■つばき会関東支部

関東地区の萩商工高同窓会。  
11月11日(土) 午後2時〜5時  
東京都品川区大崎(大崎駅東口)  
ニューオータニイン東京  
(090・7941・8725) 松野

### ■東京須佐弥寛会

関東地区の須佐地域同郷会。  
11月18日(土) 正午〜午後3時  
東京都港区高輪(品川駅高輪口)  
日立金属 高輪和彊館  
(090・2208・5873) 勝山

### ■「アイランダー2017」

全国の島々が集まる祭典。萩諸島から見島、大島、櫃島、相島が展出します。  
11月18日(土)・19日(日) 午前10時〜午後6時(19日は午後5時)  
東京都豊島区東池袋3・1  
池袋サンシャインシティ 文化会館3階 展示ホールC  
(03・6404・9002)

### ■「三輪和彦 咲き初むる白展」

平成30年1月17日(水)〜23日(火)  
東京都中央区日本橋室町1・4  
日本橋三越本店  
(03・3241・3311)

## 東北地区

### ■「日本伝統工芸展・巡回展」

高松市玉藻町5・5  
平成30年1月2日(火)〜21日(日)

香川県立ミュージアム  
(087・822・0247)

## 山口県関係

### ■つばき会下関支部

下関地区の萩商工高同窓会。  
11月4日(土) 午後6時〜  
下関市彦島西山町5・2・1  
太白ひらこし(ふく楽舎)  
(090・4652・5028) 原

### ■「萩焼 岡田泰 作陶展」

平成30年1月18日(木)〜23日(火)  
山口市市中町3・3  
山口井筒屋 5階催場  
(083・902・1111)

## 萩市関係

■明倫学舎「萩・1980年写真展」  
1980年、ナショナル・ジオグラフィック誌の依頼により萩に滞在した米国の写真家サム・エイベル、選りすぐりの作品を集めた写真展。11日(土) 午後1時から  
エイベル氏のトークショー。  
11月3日(金)〜19日(日)  
萩・明倫学舎本館2階  
(問) 明倫学舎  
(0838・21・2018)

■彩陶庵「濱野由美フェルト作品展」  
防府市在住のフェルト作家の帽子、手袋、バッグなどカラフルであったかウールの個展。  
11月25日(土)〜12月3日(日)

午前10時〜午後5時  
萩市呉服町3・1 彩陶庵ロフト  
(0838・25・3110)

■講演会「戊辰150年の会津人の思い」  
長州と会津の友好を考える会の主催により、福島県会津若松市の歴史文化施設「会津藩校日新館」館長の宗像精氏(84歳)の講演が行われる。  
11月26日(日) 午後10時〜  
松陰神社・立志殿(入場無料)  
(問) 会長 山本貞壽  
(090・8715・6110)

■萩博物館企画展  
没後100年記念「日本工学の父 山尾庸三」  
平成28年、長州ファイブの1人である山尾庸三の子孫の山尾家から、萩市へ山尾庸三の遺品など約1000点にのぼる資料が寄贈された。没後100年を記念し、資料の一部を初公開する。  
9月16日(土)〜12月3日(日)  
「萩の鉄道」つばはじめ」  
日本の鉄道の父・井上勝をはじめとした鉄道技術者や時刻表創刊者など、萩ゆかりの人々が鉄道を通じて日本の近代化に貢献した。  
12月16日(土)〜平成30年4月8日(日)  
年中無休(年末年始も開館)  
萩博物館  
(0838・25・6447)

■萩陶芸家協会設立25周年記念展  
(0838・25・6447)

## ブックレットシリーズ

### 萩ものがたり秋の新刊

#### 55 最後の門下生

渡辺葦蔵が語る松下村塾

海原徹(京都大学名誉教授)

A5版 86ページ 620円(税込)  
官営長崎造船局の初代局長に就任し、日本の造船業の近代化に貢献した渡辺葦蔵が、松陰先生や松下村塾について雄弁に語った三つの聞き書きを解説。

#### 56 吉田松陰肖像画の絵師

松浦松洞

山田稔(山口県立山口博物館学芸課長)

A5版 62ページ 620円(税込)  
絵師としての才能を發揮し、生前の松陰の肖像を描いた松浦松洞の代表作「吉田松陰自賛肖像」を中心に、生涯と画業を豊富な図版と共に振り返る。

■販売所 おいでませ山口館(東京)・文楽堂書店、明屋書店MEG A大内店(山口市)、明屋書店厚狭店(山陽小野田市)、萩・明倫学舎萩博物館等

#### 申し込み

一般社団法人萩ものがたり  
☎0838・25・3233

「茶陶の現在―2018秋」

萩陶芸家協会所属の陶芸家約80人の茶陶のほか、桃山から現代までの楽焼、唐津焼などを展示。

12月2日(土)～平成30年1月8日(月・祝)

入場料 無料

関連行事として、谷晃氏(京都・野村美術館館長)による記念講演会(12月9日(土) 午後1時～)、萩香合コンクール(公期中展示)。文化事業として、ウインター・フェスティバル(開館中の毎週土・日

新規(再)加入会員

- 長岡忠孝 (広島県広島市)
- 福永保夫 (広島県広島市)
- 中野タカ子 (東京都武蔵野市)
- 品川敏行 (秋市)
- 船越正生 (福岡県福岡市)
- 有延良江 (福岡県福岡市)
- 小林智恵 (福岡県福岡市)
- 佐藤幸子 (福岡県福岡市)
- 原口伸 (福岡県福岡市)
- (有)松陰堂印刷所 (秋市)
- 辻本満寿子 (福岡県北九州市)
- 吉武和子 (福岡県福岡市)
- 上村輝夫 (山口市)
- 河野榮美子 (山口市)
- 岩崎稔生 (山口市)
- 山根昌浩 (秋市)
- 柴田利道 (山口市)
- 下瀬昌巳 (宇部市)
- 豊田和正 (山口市)

(8月21日～10月20日) 19人

曜日と休日)。

年末年始の休館日 12月25日～平成30年1月1日  
山口県立萩美術館・浦上記念館 (0838・24・2400)

■萩しーまーと「年末お魚市」

真鯛やブリ・アワビ・フグなど年末年始用の魚介をお求めのお客で賑わいます。イリコのつかみ取りや、新鮮朝市スペシャルなどのプログラムも好評です。  
12月27日(水)～31日(日) 午前9時～  
道の駅・萩しーまーと (0838・24・4937)

米 国

■「Mari Kimura: Music in Hues」

木村まりのバイオリン演奏と納富晋の青秋作品をスクリーンに写し出し、音と映像のコラボ。木村まりと納富晋のトークもあり。  
11月6日(月) 午後8時～  
509AtlanticAve ニューヨーク・ブルックリン

ROULETTE (会場)

■「天空」大海、青の躍動(making of Ao-Hagi)」  
納富晋の作品展示と木村まりのバイオリン演奏、タイトル画家・白須純による講演。

11月8日(水) 午後6時30分～  
145West 57thStreet ニューヨーク  
ニューヨーク日本クラブ 2階

ローズルーム(会場)

(問) 納富晋(秋市山田 納富鳥雲窯 0838・22・5822)

出版情報

■図録「没後100年記念企画展 日本の工学の父 山尾庸三」  
企画展で展示された全資料と解説を掲載。  
A4版 88ページ、1000円(税込)  
販売場所 萩博物館ミュージアム ショップ

■「山尾家と山尾庸三」伝記復刻版  
日本外交協会萩支部が、山尾庸三没後100年記念にあわせ、平成27年に初版を制作後、新たな資料により増補改訂した伝記復刻版を発行。  
(問) 事務局 須子義久 (090・4651・8131)

■図録「浦上父子コレクション展 引き継がれるコレクター魂」  
9月9日～10月22日に、岐阜県現代陶芸美術館で開催された。萩市出身の浦上敏朗氏が山口県立萩美術館・浦上記念館に寄贈した浮世絵と東洋陶磁、長男で東京・日本橋の「浦上蒼穹堂」店主である浦上満氏のコレクション「北斎漫画」や古鏡などの優品を紹介。  
定価 2000円+送料  
(問) 岐阜県現代陶芸美術館(多治見市東町4・2・5 0572・28・3100)

映画・ラジオ情報

■映画「八重子のハミング」

東京都 飯田橋ギンレイホール  
11月18日(土)～、兵庫県 豊岡劇場  
11月11日(土)～、高知県 高知あたご劇場 11月25日(土)～、熊本県 本渡第一映劇 11月4日(土)～、沖縄県 シネマパレット 11月4日、

■NHKラジオ第一(全国放送)「ふるさと自慢」た自慢」

ゲスト歌手に千昌夫と水森かおりをリーダーに迎え、地域の男性・女性のグループ対抗で、故郷の良さを自慢する。  
放送予定 平成30年1月6日(土)「ふるさと自慢」コンサート  
ゲスト歌手2人の歌謡ショー。  
放送予定 平成30年1月13日(土) いずれも午後4時5分～4時55分

お知らせ

■第5回「萩・幕末維新検定」

幕末・明治維新に関し、萩ゆかりの人物や歴史等を学ぶ「萩・幕末維新検定」の申込受付中です。明治維新150年の記念の年となる今回の検定をもって最後となり、初めての方も上級・師範コースに挑戦できます。

・検定日 平成30年2月18日(日) 午前10時～、萩・明倫学舎ほか  
・コース 初級・入門コース、中級・門下生コース、上級・師範コース

ス(詳しくはホームページ)

・申込受付 11月1日～平成30年1月26日  
(問) 萩市まちじゅう博物館推進課(0838・25・3290)

■大照院本堂・経蔵の保存修理

国の重要文化財に指定されている大照院本堂と経蔵の保存修理が終了、11月4日に竣工式が行われる。約7年がかりの修復を終え、本堂は1750年代の再建当時の姿を取り戻す。来年4月に落慶法要が行われ、その後一般公開となる。

プレゼント

①自然薯むかご(150グラム2袋)を10名様  
②図録「没後100年記念企画展 日本の工学の父 山尾庸三」を2名様  
■応募方法 ハガキに品名、住所氏名、電話番号、近況等を明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。11月30日必着。

編集後記

・秋は高校同窓会のシーズン。10月14日、つばき会本部総会では弘中副知事が工業高校同窓生としてまた来賓としてあいさつ。10月28日、東京指月会では創立50周年記念として元宮内庁長官の羽毛田信吾氏が講演。萩からは住吉神社お船謡保存会が特別出演。  
(広報特別参与 山本)

**ふるさと情報紙「萩ネットワーク」**  
萩ネットワーク協会 ☎0838・25・3178

全国のネットワーク会員に、年6回隔月で郵送  
発行月 1・3・5・7・9・11月号  
(1994年10月創刊)  
会費 一般2,000円、特別賛助10,000円  
会員数 1,700人

**イベントカレンダー**  
萩市観光協会 ☎0838・25・1750

- 12月31日(日)まで  
◇古地図でめぐる萩まるごとクーポン
- 11月3日(金・祝)8:00～  
◇江崎定置網朝市 江崎漁港市場内
- 11月3日(金・祝)9:15～  
◇須佐ふるさとまつり 須佐総合事務所駐車場
- 11月3日(金・祝)9:30～ 道の駅・ハピネス ぶくえ周辺  
◇福栄ふるさとまつり
- 11月11日(土)、12日(日)10:00～  
◇萩ふるさとまつり 中央公園、萩市民館、田町商店街
- 11月12日(日)12:00～ 中央公園～ 金谷神社  
◇萩時代まつり (パレード)
- 11月19日(日)9:30～ 旭活性化センター周辺  
◇萩往還ささなみおいでん祭
- 11月25日(土)～平成30年1月5日(金) 17:30～22:00  
◇萩イルミネフェスタ JR萩駅周辺
- 12月10日(日) 10:00～ 萩ウェルネスパーク (スタート・ゴール)  
◇萩城下町マラソン

**観光列車**  
まるまる  
「○○のはなし」

**運行スケジュール**

■運転日 土・日曜日、祝日  
■運転区間 [往路] 新下関駅 (9:59 発) ～下関駅～長門市駅～東萩駅 (12:57 着)  
[復路] 東萩駅 (14:13 発) ～仙崎駅～長門市駅～下関駅 (17:50 着)



三見～玉江間



**2017 着物フォトコンテスト**  
グランプリ「HAKAMA WALK」  
池部優生 (萩市)

10月1日～22日まで開催した「着物ウィーク in 萩プレミアム」の着物フォトコンテスト。応募総数 162 点の中から 6 点が入賞。

山口限定販売 各 **500円** (税込)

松陰先生のことば入り  
ロングセラー  
**吉田松陰 2018 カレンダー**  
594×210mm  
13枚綴り カラー一冊

新発売  
各月に長州志士と松陰先生のことば入り  
明治維新150年記念  
**明治維新12長州志士 2018 卓上カレンダー**  
98×174mm  
14枚入り カラー一冊  
プラスチックケース入り

ブックレットシリーズ 明治維新150年記念  
「萩ものがたり」を  
定期購読しませんか？

特典 バックナンバーが3割引！  
期間限定 2018年12月末まで

購読料 年会費 **2,000円** (500円×年4冊)  
定価割引 **620円⇒500円**  
送料無料で定期購読お申込はこのハガキで

【お届け方法】  
毎年春(4月)と秋(10月)に各2冊(年間4冊)お届けします。会員から解約指示があるまで、定期購読は自動的に更新されます。

【出版タイトル(既刊・予定)】  
2017年春 「名君 毛利敬親」 「萩の世界遺産」  
2017年秋 「最後の門下生 渡辺篤蔵が語る松下村塾」 「吉田松陰肖像画の絵師 松浦松洞」  
2018年春 「長州ファイブから鉄道の父へ 井上勝物語」 「明治維新の流れ(仮)」  
2018年秋 「伊藤博文の世界」 「海外から見た幕末長州藩」

問い合わせ 一般社団法人 萩ものがたり  
〒758-8555 山口県萩市江向510 萩市広報課内  
E-mail story@city.hagi.lg.jp

TEL 0838-25-3233  
FAX 0838-26-5458